

# 富士時報

FUJI  
ELECTRIC  
JOURNAL

省エネルギー電力利用合理化システム特集

FUJI  
ELECTRIC

1978  
VOL. 51

5

電力の有効利用を実現します。  
**電子式デマンド監視装置**



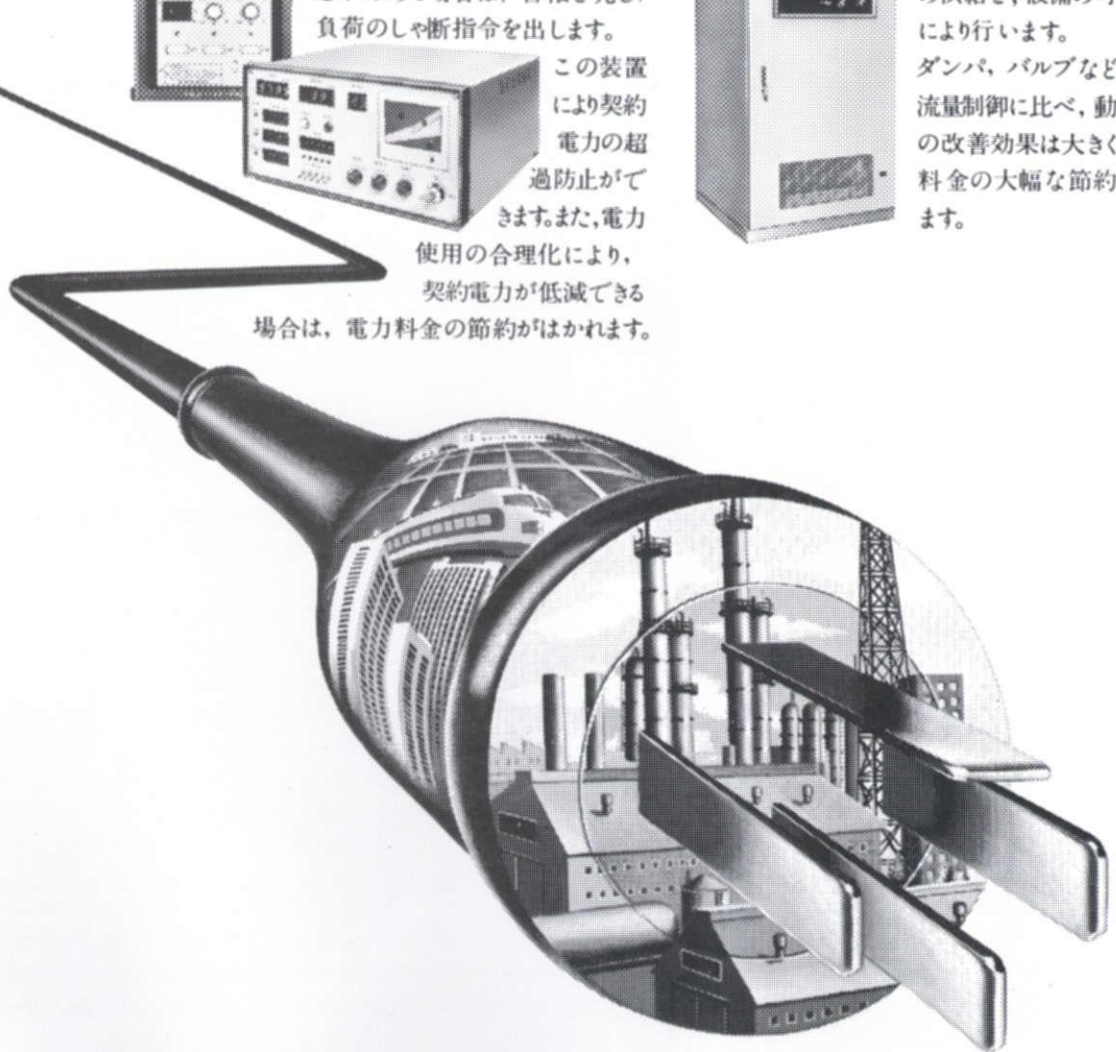
使用電力を常時監視し、契約電力(30分間の平均電力)を超過する恐れのある場合は、警報を発し、負荷のしゃ断指令を出します。

この装置により契約電力の超過防止ができます。また、電力使用の合理化により、契約電力が低減できる場合は、電力料金の節約がはかれます。

電力損失を軽減します。  
**静止形動力節電装置**



例えば、プロア運転の場合は、操業に対する最適風量の供給を、設備の可変速化により行います。ダンパ、バルブなどによる流量制御に比べ、動力損失の改善効果は大きく、電力料金の大幅な節約ができます。



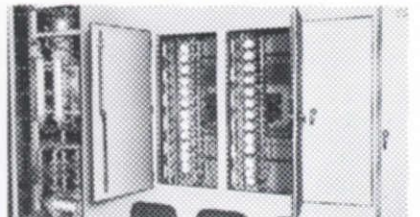
電力の効率運用をはかります。  
**電子式自動力率調整器**



無効電力が、設定値をオーバーした時、コンデンサの投入、しゃ断指令を自動的に行います。力率の改善、力率管理の省力化、無効電力による電圧の変動を押えることなどを、目的とした電力管理機器です。

電力の質を向上させます。  
**静止形フリッカ補償装置**

電圧を安定させ、フリッカ(電圧変動)により発生する照明やテレビ映像のチラツキを防止します。この装置により、アーク炉、圧延機、溶接機などは、フリッカによる苦情もなくなり安心して使用することができます。



**富士電力利用合理化システム**





\*本誌に記載されている会社名および製品名は、それぞれの会社が所有する  
商標または登録商標である場合があります。